東奥日報 令和5年9月14日 (木)

をサポートしたプロのクリエーター エイティ部のメンバー(前列)と制作 完成したポスターを持つ三戸高校クリ



戸高校

今月上旬、県立美術館に展示したほか、八戸、弘前の 両市でも展示予定。23、24日に東京で行う生徒募集対 形になったことに誇らしげな様子だった。ポスターは 学校やふるさとへの愛着を再確認、自分のアイデアが り組んだ、学校の魅力発信ポスターが完成し13日、同 高校(豊川武伸校長)「グリエイティ部」の生徒が取 徒主導による珠玉の10作品。制作を通じ、生徒たちは 校で披露会が行われた。ポスターは企画、撮影など生 県外生徒を受け入れる全国募集導人校となった三戸 「クリエイティ部」

発信、生徒募集に活用

サポートを受けアイデアを

心に、プロクリエーターの

然の豊かさ、少人数だから 高校で唯一の昼食提供、自

)そ伸ばせる個性、先生と

ポスターは7月下旬を中

而合同説明会でも活用する。

(珍田秀樹)

を見つめるもの、学校直前 セージを込めたもの、 えたい夢があるというメッ ヒーを添え、坂の先にかな にある急坂を上る後ろ姿に 「いくよ、テッペン」とコ いた自身のロードマップ 干部作成した。 品ができた。「学校の素晴 は「マイナスのイメージを プラスに捉え、個性的な作 景を収めたパンフレットも しおり、ポスターや制作風 生徒、クリエーターたち

城があった町をイメージ

し、甲冑姿の武者が黒板に

変ーなど多様な視点が生き 印象的な空の下を帰宅する を作った。三戸南部氏の居 練り上げ、一人1~2作品

の距離の近さ、部活動帰り

にもらったリンゴを持ち、

くしている」と話した。 のさまざまな展開にわぐわ 尾和彦町長は「大人では考 らしいものができた」、松 的に不安もあったが、素晴 えつかないアイデア。今後 日下慶太さん(40)は「日程 写真家・コピーライターの にも響けば」などと感想 らしさが県外の子どもたち